

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月31日

団体名 Foods for Children 岡崎

代表者 浦川 友紀

構成員 30 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。 本会は、オーガニックの食と農を岡崎に広げ、また地元の有機農産物を学校給食へ取り入れてもらうよう行政に働きかけていくことで、子どもたちや全ての市民が心身ともに健康でいられること、美しく豊かな環境を残すこと、地元での経済循環を促すことを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
8/26	夏山町	参加者	10人	養蜂園を見学し、蜂の生態や環境についての講座を開催した
12/10	西阿知和町	レオナ第二幼稚園園児	70人	稲作と田んぼの四季について園児に向けてお話し会を開催した
12/11	真伝町	レオナ第一幼稚園園児	100人	農業大学校の学生に有機米の作り方の寸劇披露会を開催した
3/8	額田センター・こもれびかん	豊富小児童 来場者	70人	農家さんと協働で、こどもたちや市民と有機農業と有機給食の交流会(3時間)を開催した。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

養蜂園見学では蜂の目線で自然環境について興味をもってもらふ機会を提供した。幼稚園での交流会では、園児たちに農大生の作った美味しいお米をふるまうことができ、またお米の話や寸劇を通してお米をもっと身近に感じる機会を提供できた。有機農業・給食交流会では、地域住民とともに有機農業を地域で活性化する方法や、有機農業を給食につなげていくアイデアを交換し、地域で地域の食と農を守っていくきっかけを提供できた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

前年度よりもこどもたちに直接触れ合う機会が増え、こどもだけでなく先生方や保護者などにも地域の食と農業を大切にする啓発活動を広げることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。